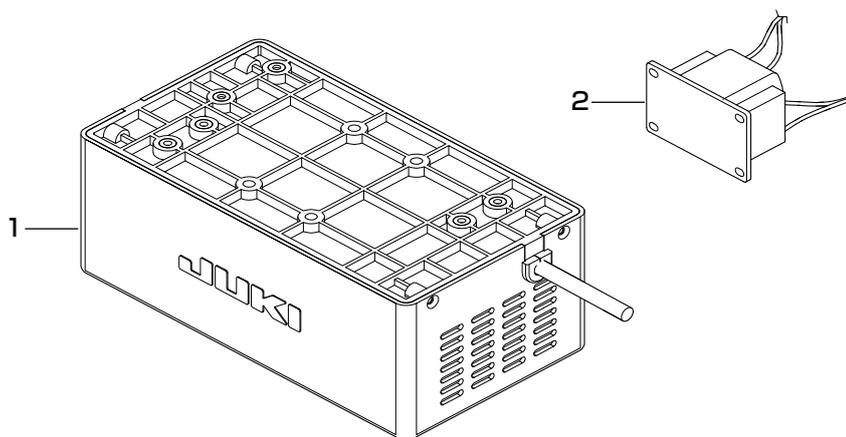


付属のリアクタボックス・リングコアの取付け・接続方法

付属のリアクタボックスにより、取付方法・接続方法が異なります。
以下の資料を参照して取り付けをお願いいたします。

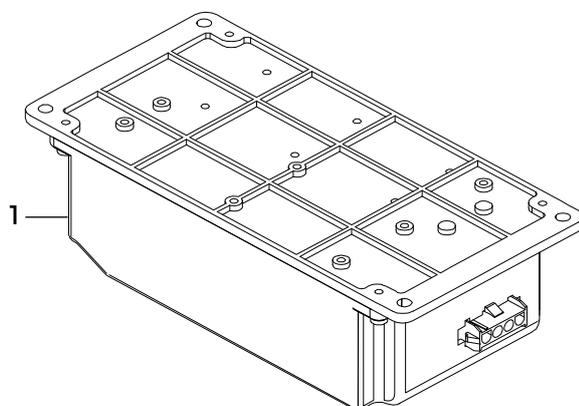
- 下記をお使いの場合は「[2-6. リアクタボックス・リングコアの取り付け \(EU仕様のみ\)](#)」p.2
をご覧ください。

	品番	品名
1	402-33439	REACTOR 8A
2	402-47139	REACTOR_COVER_CABLE_SET_7A



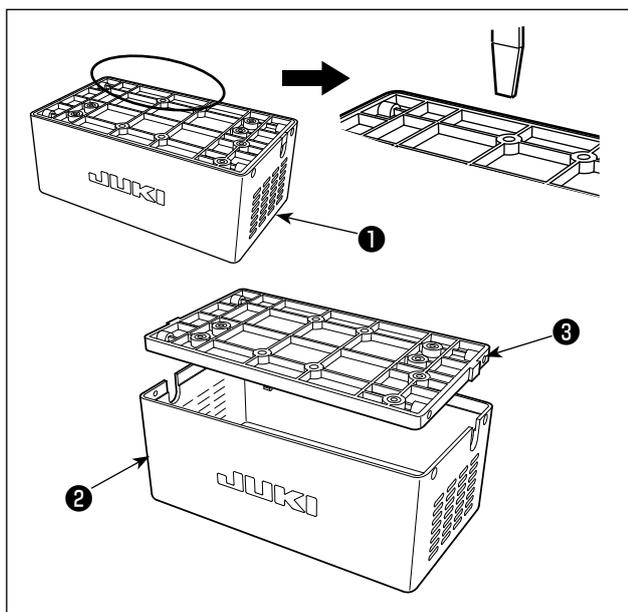
- 下記をお使いの場合は「[2-6. リアクタボックスの取り付け \(EU仕様のみ\)](#)」p.5
あるいは [DDL-8000AS,AB 取扱説明書「2-6. リアクタボックスの取り付け \(EU仕様のみ\)」](#)
をご覧ください。

	品番	品名
1	403-06069	REACTOR_BOX_8A



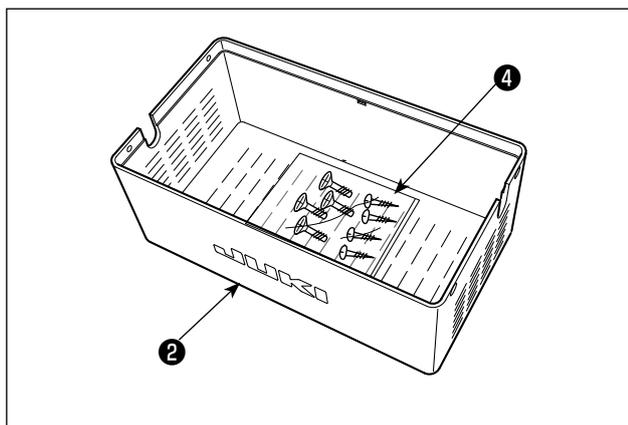
2-6. リアクタボックス・リングコアの取り付け (EU仕様のみ)

* EUタイプの機種は、マシンに付属のリアクタボックスを取り付けます。



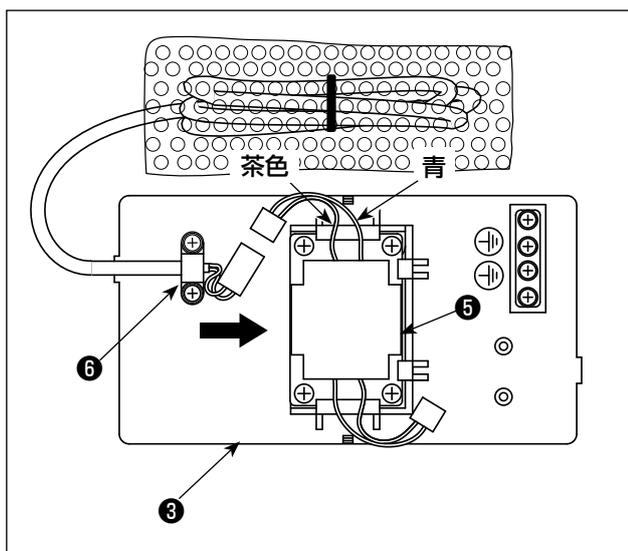
1) リアクタボックス①からリアクタカバー②を取外し、リアクタベース組③と分離します。

* リアクタボックスのカバーとベースのすき間にマイナスドライバーなど先の細く平らな物を挿入すると簡単に外れます。



2) カバー②より、ねじ袋④を取り出します。

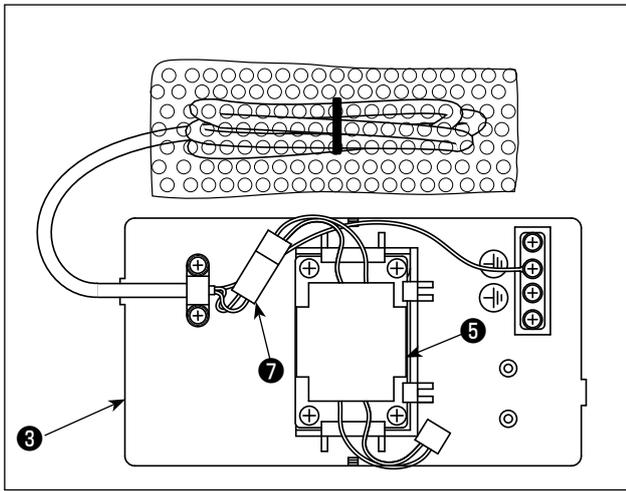
* 2種類のねじが各4本袋に入っています。



3) リアクタベース組③にリアクタ⑤を矢印の方向からスライドさせながら挿入します。

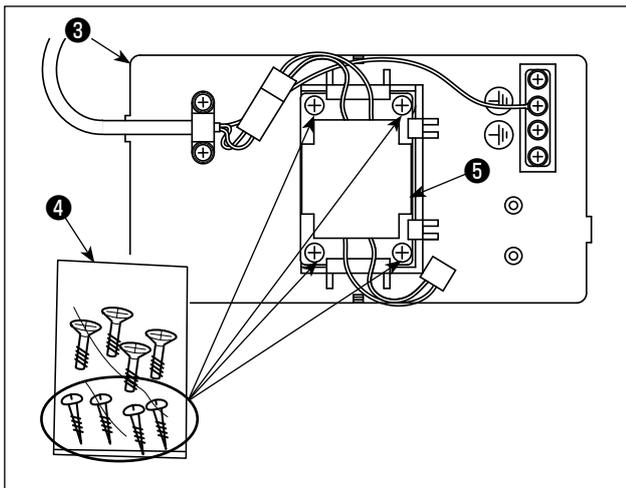


1. リアクタを挿入する際には、束線クランプ⑥外してください。
2. リアクタ⑤は、茶、青のリード線側を上向きにして挿入してください。



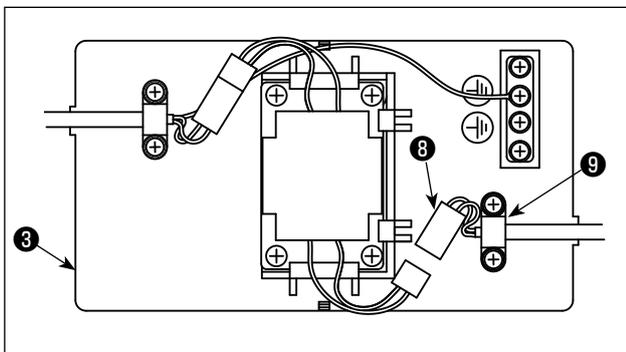
- 4) リアクタベース組③に固定された電源コードのコネクタ⑦とリアクタ⑤のコネクタを接続します。

注意 コネクタのロックが掛かるまでしっかり挿入してください。

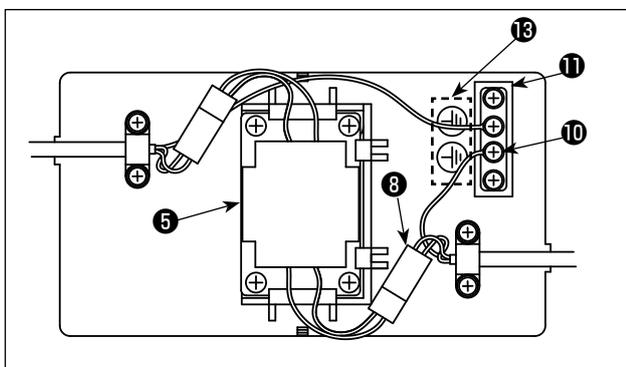


- 5) ねじ袋④より木ねじ (ST4.2 × 25) を取出し、リアクタベース組③及び、リアクタ⑤をマシン テーブル下面に固定します。
(ねじ止め 4ヶ所)

注意 テーブルへの取り付け位置は、11) の指示図を参照してください。



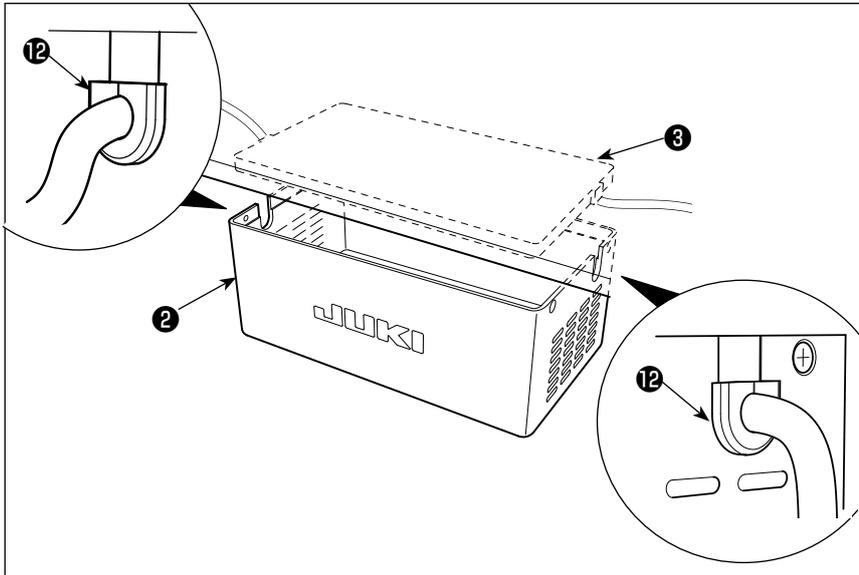
- 6) 電装ボックスからの電源コード組⑧を束線クランプ⑨にてリアクタベース組③に固定します。



- 7) 電源コード組⑧のコネクタとリアクタ⑤のコネクタを接続します。

- 8) 電源コード組⑧のアース端子⑩をアースベース⑪にねじ止めします。

注意 アース端子はアースマーク⑬の付いたねじに固定してください。

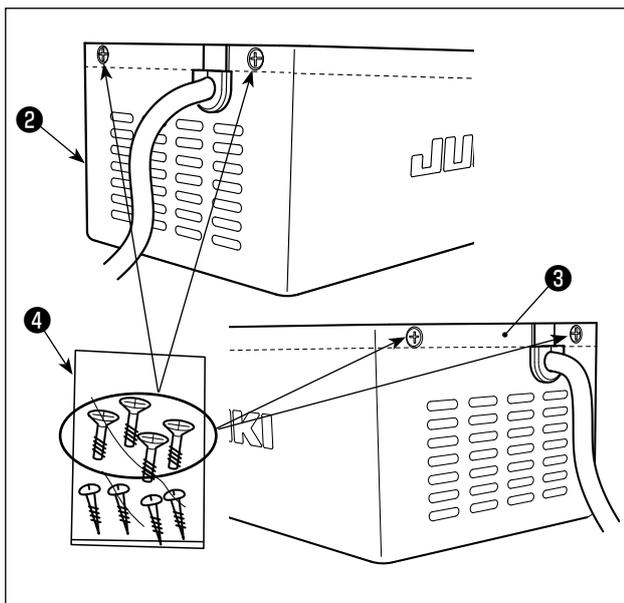


9) リアクタカバー②をリアクタベース組③に被せます。

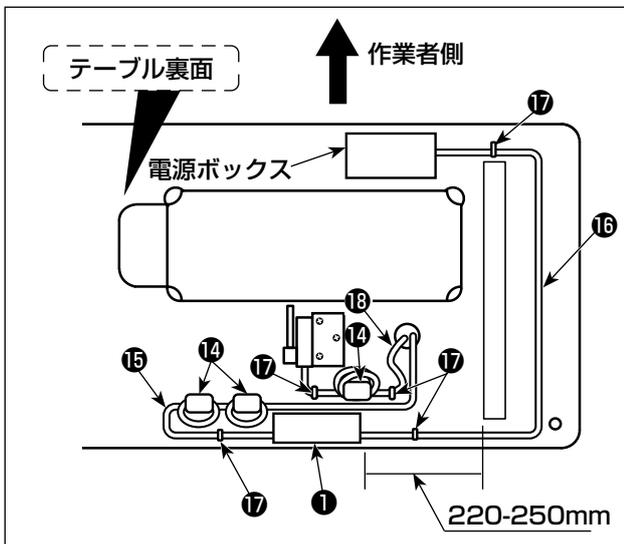


リアクタカバー②でコードをはさまない様に注意してください。

電源コードをコードブッシュ⑫に通して、リアクタカバー②のスリット部に挿し込みリアクタベース組③で押えてください。



10) ねじ袋④からリアクタカバー固定ねじを取出しリアクタベース組③にリアクタカバー②を固定します。(4ヶ所)



11) コア 2 個⑭は、電装の電源ケーブルに 2 ターンさせてクランプしてください。

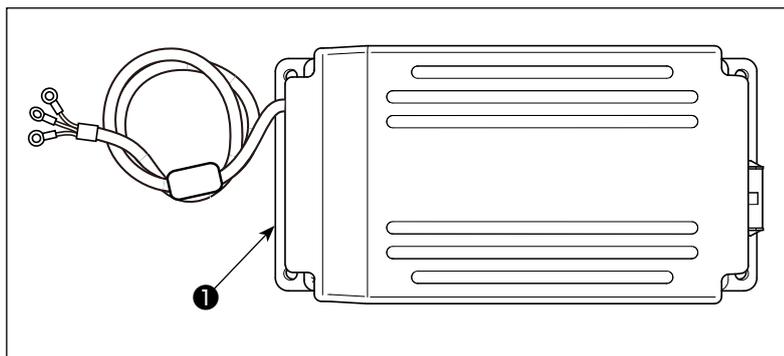
コア 1 個⑭は、ペダルセンサーケーブル⑬に 3 ターンさせてクランプしてください。

12) 付属のステップル⑰を使用して、AC 入力ケーブル⑮・出力ケーブル⑯とリアクタボックス①をテーブル裏面に取り付けます。

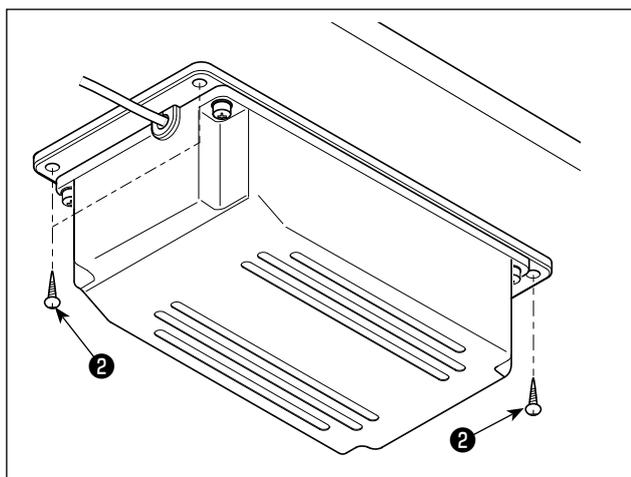
このとき、AC 入力ケーブル⑮・出力ケーブル⑯が交差しないように注意してください。

2-6. リアクタボックスの取り付け (EU仕様のみ)

* EUタイプの機種は、マシンに付属のリアクタボックスを取り付けます。



1) 付属品箱よりリアクタボックス①を取り出します。



2) 付属品袋より、木ねじ②を取り出しリアクタボックスをテーブル下に取り付けます。(ねじ締め4ヶ所)

3) 図を参照して、リアクタボックス①を取り付けてください。

4) 付属のステップル③を使用して、電源コード、ペダルコードをテーブル裏面に取り付けます。

